【寄稿】

母校創立 100 周年の歩み-その記録 3-

名誉教授　西谷源展(44 回生)

1.レントゲン技術講習所の設立

母校の前身である「島津レントゲン技術講習所」の設立は島津源蔵の命によって福田雋一、鈴木庸輔らにより大正 15 年 11 月ころから検討された。翌年の昭和 2 年(大正天皇は大正 15 年 12 月 25 日に崩御、昭和元年は 31 日までの 1 週間)8 月 16 日申請書提出、9 月 19 日に京都府より設立が認可された。私立学校令により設立者は島津源蔵、所長は福田雋一として認可書が交付されている。従って島津製作所の経営ではなく島津源蔵個人となっている。

(認可日 9 月 19 日は現在、創立記念日)

島津レントゲン技術講習所の目的は「本所はレントゲン学に関する技術を教授し兼ねて品性を陶冶し有為の技術者を養成するを以て目的とす」としており、この趣旨は現在の大学にも引き継がれている。また、島津レントゲン講習所案では入学者は満 18 歳以上の男子及び女子の共学であったが、京都府は女子の入学を不可とした。

設立の認可と共に開設準備のため島津レントゲン研究課主席技師の長坂　亀三朗氏は校舎関係の準備、福田雋一所長は開校準備、滝内　政治郎氏は実験実習用装置、機械設備関係の準備を担当した。

長坂氏は設立当時の回顧として創立 10 周年記念誌に記述している。それによれば、本校について、「当時外国ではドイツにおいて講習会のようなものはあったが、技術者を養成するための学校は世界でも我校が初めてであったのではないか」と述べている。

2.第１回入学試験を実施

試験日　1927 年(昭和 2 年)11 月 13 日　　試験科目　国語、英語またはドイツ語、数学

入学金　5 円　試験会場　京都　東京　福岡　募集人員　20 名　就学期間　6 か月間

試験結果の発表

入学試験の結果、中国、台湾、樺太を含めて全国から数百人の応募者があり 21 名に入学許可が与えられた。入学許可者から 19 名の入学者があり、その他、委託・聴講生が 6 名入学した。

3.授業科目

1.特別講義(修養講座)　2.数学　3.レントゲン物理学及び管球　4.電気理論及び電気機械器具
5.解剖生理概論　6.レントゲン装置及び付属品　7.電気事業法令　8.レントゲン線測定　9.レントゲン撮影法
10.レントゲン治療法　11.実習

4.講師陣と担当科目

福田雋一(電気理論)　青柳栄司(修養講座)　浦野　多門治(診断撮影法)　斎藤大雅(解剖生理)
長坂　亀三朗(X 線装置)　栗本周六(数学)　藤本慶治(測定)　上山正英(物理)　後藤光文(電気器具)
滝内　政治郎(実習)

昭和 3 年 3 月 1 日付けの委嘱

竹島光蔵(治療)　石川徳一(電気法令)　平塚　源三郎(機械製図)　前田秀也(工事実習)

5.第１回入学式

第１回入学式は 12 月 1 日に行われた。入学写真は滝内講師により間接撮影実習に使用するカメラにて撮影されたものである。入学した生徒の前歴は、鉄道員・営業写真家・雑誌記者・マッサージ師・病院勤務X 線技師などさまざまであった。学生の年齢は 44 歳が最高齢で平均 24 歳であった。講師は福田所長が 37 歳、講師のほとんどが 20 歳台で授業には苦労が多かったと滝内講師が回顧録に記述している。

第１回入学式

以上

＊通巻 254 号　2025 年 1 月 10 日発行(2025－No.1)より